

# いわきの神楽

ビードロ、テンドンテンと、笛太鼓の音で訪れる神楽は、春の訪れでもあった。それはなんとほなほに楽しく、まためでたい正月である。こうして神楽とともに正月が来たものである。近年は、正月といっても、こうした神楽の訪れは見られなくなつたが、このむら、このまちにも春の訪れはあり、そこにはお正月がやってくる。

それに、神楽の訪れには春の訪れだけではない、年に一度、むらをあけて、まちをあけての、祭りの訪れでもある。

いわき市山田町井ノ上の、本倉神社に古くから伝えられている二人立ちの獅子神楽は、昭和十七年以来中断していたのを、昨年これを昔ながらに復興した。いわき市内には、一人立ちの獅子、いわゆる三匹獅子舞の数は非常に多いのに、一人立ちの獅子舞である神楽と呼んでいるこの方は、非常に数少ない。

現在神楽を舞うことの出来るのは、常盤馬玉町と、この井ノ上のものだけである。

舞は、長獅子の舞と、神楽七芸といわれる、おかめ、鐘旭舞、大黒舞、鳥さし、あほう舞、忠臣の舞、和唐内などの余芸をも持っている。

祭日は四月八日であり、七年に一度の大祭には、神楽の奉納はもちろん、岩間の海岸まで、御輿の渡御がある。三百年来の伝統であると伝えられている。

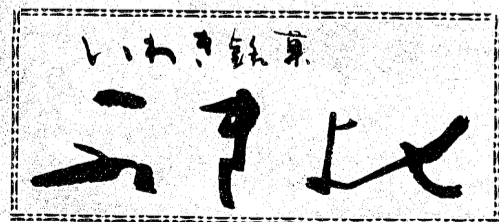
写真/井出 保 文/和田文夫

銘菓

# 六段最中

あけまして  
おめでとう  
ございます

昭和52年元日



六段本舗

# 平風

●ヤン・ヤン店 ●駅前本店 ●イトーヨーカドー店 ●鉄道弘済会売店 ●ハワイアンセンター売店をご利用下さい

いわき市平駅前 ☎ 2509 工場 ☎ 8950

# 座談会 ねるたずを流

座談会「いわきと川」は向こう一年間、ご出席の七人をレギュラーメンバーにして、その都度、各方面からゲストを招くなど多彩な内容を盛り込みながら、毎週水曜日に連載して行くことになりました。なお必要に応じてメンバーの寄稿もある予定です。本紙初の「大型座談会」にご期待下さい。

# いわきと川

①

## クビナガリユウの産地

生物と水とは、切っても切れない関係にある。遠い昔、川の流域にまず集落が出来、そこに文化が生まれた。川を利用した農業をはじめ、いろいろな産業が育ち、発達して来た。川は文化の源流である。いわきを流れる鮫川、藤原川、夏井川などの河川の果たして

きた役割は大きなものがある。そこで地学、地理学、考古学、歴史、生物学、民俗学など、各分野の専門家の人たちにお集まり願って、「いわきと川」というテーマで大いに語ってもらった。司会者は本社の伊藤編集局長。

司会 皆さん、お忙しいところ、人間にも明治、大正、昭和と年代をお集まり頂きまして有り難うございました。今回は「いわきと川」時代—いわきと川、新世紀とあり、今お集まりの皆さん、このテーマで皆さんの「意見をお聴きして、だれにでもわかるような、楽しい読み物にまとめてみたい」という趣意で、この「いわきと川」を、柳沢先生から一つ……。

柳沢 端的に申し上げますと、



ら 佐藤、柳沢、和田、大塚、手前右から松本、伊藤、古内の各氏。

その北側を流れている大久川は、皆さんご承知の通り、クビナガリユウで一躍関光を浴びたところですが、谷地鉦泉の西側から花崗岩帯に入る。その少し下流の板木沢がクビナガリユウの産地で、谷地鉦泉の南のところで巨大アンモナイトが発見されるなど、考えもしなかつた化石の埋蔵地帯だったわけですね。

大きな特徴は、夏井川、鮫川、好間川の上流は全部北西の方向に生活圏があり、自然の地塊運動によってこの地形が出来上がり、さらにそれにマッチした環境が出来ていく。第四紀層にたいして現在の姿になつていくわけ、つまり地形が構造に支配されているんです。今日はそれぞれの分野に立つたお話の中で、それがどう展開されているのか、大いに期待しているところですね。

## 海から川へ 生物が進化、そして陸地に 植物の種類が豊富

司会 ありがとうございます。今度は生物学から見た場合を古内先生から……。

古内 生命の起源は海洋で発生した。海から川へ、生物が進化、そして陸地に植物の種類が豊富になる。いわきの川と植物の関係をお調べすると、なかなか面白いものがあります。という話は、先程も柳沢先生からお話がありましたように、いわきには二ツ断層、赤井岳、湯ノ岳などの断層がある。その断層のところで地盤が北西に走り、そこが入り江になつて、その奥が二ツ断層では高崎になつており、赤井断層では好間、湯ノ岳断層では遠野に当たる。これがまた面白い問題を生んでいるんですね。という話は、海から吹いて来る暖かい風が、谷の開いている方向から入り江の奥まで、まともに入ってくる。従って、そうした気地でも、暖かい地方にしか生息しない生物が住みつくようになるわけ、例えば樺や杉の木、特に樺は意外と風強いところにもあるもので、その周りをみると、必ず南の方がひらけています。必ずしもその奥まったところが大抵川の出口になつてはいる。二ツ断層層では高崎のところに夏井川が、赤井断層層では好間川、湯ノ岳断層層では高崎のところに夏井川が、



春一番のお買い得、77全店新春初大売出し  
1月2日(日)▶4日(火)

サアサア一獲千金  
あけてビックリ!!  
全店で1月2日限り  
**福袋**  
1袋 1,000円 5,000円 (衣料品)  
※平店新館ではとくに30,000円のジャンボ福袋も用意いたしました。



いわき市平・田町9  
☎23-1234(代)



